

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-68831(P2006-68831A)

【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-251938(P2004-251938)

【国際特許分類】

B 2 3 B 1/00 (2006.01)

B 2 3 B 27/08 (2006.01)

【F I】

B 2 3 B 1/00 Z

B 2 3 B 27/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月28日(2007.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続した切れ刃を有する切削部材を工作物に接触させると共に前記切削部材と前記工作物とを相対移動させ、かつ、前記切削部材を動力により前記切れ刃の連続方向に回転または揺動させる

ことを特徴とする切削加工方法。

【請求項2】

前記切削部材を、前記切削部材と前記工作物との相対移動速度に対して独立した速度で回転または揺動させる

ことを特徴とする請求項1記載の切削加工方法。

【請求項3】

前記工作物を回転または平面移動させ、前記切削部材を、前記工作物の回転方向または平面移動方向に対して略垂直な平面内で回転または揺動させる

ことを特徴とする請求項1または2記載の切削加工方法。

【請求項4】

前記切削部材の前記切れ刃近傍に、切削油剤を収容するための凹部を設ける

ことを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載の切削加工方法。

【請求項5】

工作物に対する相対移動により前記工作物を切削加工するための切削加工工具であって

、連続した切れ刃を有する切削部材と、

前記切削部材を支持し、前記切削部材の切れ刃を前記工作物に接触させる保持部と、前記切削部材を動力により前記切れ刃の連続方向に回転または揺動させる駆動部とを備えたことを特徴とする切削加工工具。

【請求項6】

前記切削部材を、前記切削部材と前記工作物との相対移動速度に対して独立した速度で回転または揺動させる

ことを特徴とする請求項5記載の切削加工工具。

【請求項 7】

前記駆動部は、前記切削部材を、回転または平面移動する前記工作物の回転方向または平面移動方向に対して略垂直な平面内で回転または揺動させる
ことを特徴とする請求項5または6記載の切削加工工具。

【請求項 8】

前記切削部材は、前記切れ刃近傍に、切削油剤を収容するための凹部を有する
ことを特徴とする請求項5ないし7のいずれか1項に記載の切削加工工具。